



9月22日(日)

堤の水を抜く

上野堤まつり

伯 青町上野の大堤で9月22日(日)、上野堤まつりが開催されました。

上野、大平原集落では、毎年この時期に堤の水を抜き、底にたまった泥の除去や土手の管理を行っています。

この水抜きに合わせて、堤に生息する鯉や小魚のつかみ取りイベントが開催され、小雨が降るあいにくの天候でしたが、集落内外から多くの人が参加し、水が抜かれた堤に入って、鯉や小魚を捕まえていました。

参加者は全身泥だらけになりながら魚を追いかけ、大きな鯉を網ですくいあげ、歓声をあげて、イベントを楽しんでいる様子でした。



▲網で魚を追いかけます



▲全身の泥を洗い流します

9月25日(水)

おいしいお酒になりますように

福岡で酒米の稲刈り

皆

生温泉オリジナルの日本酒「海に降る雪」の原料となる酒米の収穫が9月25日(水)、伯耆町福岡の水田で行われました。5月に植えた酒米が収穫の時期を迎え、(株)上代のほか、森の幼稚園 michikusa(ミチクサ)の園児、皆生温泉旅館組合青年部ら約60人が参加し稲刈りを行いました。

参加者は、黄金色に実った稲穂を手作業で丁寧に刈り取り、わらで結んで束にした後、手際よくハデに干していききました。

収穫された米は年明けから仕込みが始まり、皆生温泉オリジナルの日本酒「海に降る雪」として、皆生温泉の宿泊客に提供されます。



▲稲刈りをする参加者たち

9月27日(金)

安全運転で事故なし

秋の全国交通安全運動合同啓発活動



秋

の全国交通安全県民運動期間中(9月21日~30日)の9月27日(金)、江府町と合同の街頭啓発活動がAコープみぞくちで開催されました。

啓発には、伯耆町、江府町の交通安全指導員や小中学校の交通安全保護者の会、鳥取県交通安全協会日野川地区協会の会員など約30人が参加し、国道181号からAコープみぞくちの駐車場内へ誘導されたドライバーに対し、リーフレットやペットボトルの水、「事故なし」にかけて梨を手渡ししながら、安全運転を呼びかけました。



▲これからも事故なし(梨)をお願いします

9月29日(日)

もしもに備えて

伯耆町防災活動避難訓練

伯

青町防災の日の9月29日(日)、伯耆町全域で防災訓練が行われました。

これは、伯耆町区長協議会が主催で毎年9月の最終日曜日に町内一斉に行われている訓練で、今年も町内66集落が避難訓練を実施しました。

今回は、平成12年の鳥取西部地震級の地震発生を想定した避難訓練を実施する集落のほか、昨年の9月30日に日野川水位が上昇し、避難指示が発令された事態を教訓とし、浸水区域となる一部の集落では、避難準備・高齢者避難開始が発令されたとの想定のもと、溝口公民館に避難を行いました。

当日は、避難所とされた溝口公民館に訓練参加者が避難し、避難者の住所氏名などを避難所の受付で待機していた役場職員に報告するなど、避難の手順を確認していました。

訓練終了後は米子市上後藤一區自治会の防災活動の取り組み事例の紹介、国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所から日野川の水位情報をインターネットから調べる方法などの紹介があり、参加者はいつ起きるかわからない災害への備えの大切さを改めて感じている様子でした。



▲溝口公民館へ避難する参加者



▲受付用の避難者名簿を記入